

2019年度 国際交流支援事業 授与式・表彰式を開催

当研究所では、2019年度の外国人・研修研究等助成事業並びに国際交流功労顕彰事業の対象者を決定し、1月29日、スルガ銀行IRC(長泉町)にて授与式・表彰式を開催いたしました。

当日は、青木孝弘理事長より助成金交付対象者の方に認定書が、功労賞の顕彰対象団体に表彰状が授与されました。また、ご来賓の静岡県教育委員会様ならびに公益財団法人静岡県国際交流協会様から、それぞれご祝辞を賜りました。

上記事業を含む当研究所の国際交流支援事業は、1996年より事業を開始しており、今年度が24回目の授与・表彰となります。



●外国人・研修研究等助成事業 助成金交付対象者

John Cheney (袋井市国際交流室)	
研修・研究 テーマ	Shizuoka-ben, Linguistics, Language, Socioeconomic status, spatial variation. (静岡県内各地の方言とその相違要因についての調査)
Maricel Narciso Duldulao (聖隷クリストファー中・高等学校)	
研修・研究 テーマ	SCALE IT! Presentations and Activities Promoting Cultural Diversity, Inclusion and International Relations - presentations by foreigners and Japanese in the community to children with the aim of promoting inclusion, and appreciation of multiculturalism (勤務校内外の子どもを対象に、バイリンガルによる講義や活動を実施)
Bevis Joseph Unger (沼津市教育委員会)	
研修・研究 テーマ	Helping foreigners integrate and make the most of their time in Shizuoka. (静岡県内在住外国人向けの情報ポータル(youtube含む)制作)
Akierah Binns (静岡県立伊東商業高等学校)	
研修・研究 テーマ	The impact of Assistant Language Teachers (ALTs) on English Teachers (ALTs) on English Education in Shizuoka Prefecture (静岡県内におけるALTの教育活動を支援するフレームワーク開発)

●国際交流功労顕彰事業 国際交流功労賞 対象者

伊東按針会 (伊東市)	
伊東市ゆかりの三浦按針の功績を顕彰するため、按針祭開催、英国メドウェイ市との交流など様々な事業を継続的に展開	
多文化共生を考える焼津市民の会「いちご」 (焼津市)	
焼津市周辺在住の外国にルーツをもつ子どもたちへの学習支援の実施など、多文化共生にかかわる活動に取り組む	